

安心、安全な子育て環境の整備

そうま維新
尾高雅夫議員



問 安心・安全な通学環境づくりについて問う。

答 既存の安全対策と新たな協議会体制を併用して、環境づくりを進めてまいりたい。

本年5月に開催された議会報告会にて、子ども達が安心して通学できるように通学路の整備に対する意見があつた。

通学路における不具合箇所の早期発見及び、対応方法について問う。

問 安心・安全な通学環境づくりについて問う。

答 各地区のPTA活動の一環として行った通学路の安全点検や市連Pからの要望書、地区住民からの通報などにより現地を確認し、改善をしている。

しかし、通学路の安全確保のためには、継続的な安全性向上を把握、検証する機関が必要であることか

ら、新たに通学路の安全点検をする体制づくりを教育委員会、学校、保護者、警察、道路管理者、地域見回りパトロール隊などからなる協議会で進めている。

今後は、これまで行ってきたやり方と協議会体制を確立した後の体制を併用しながら進めてまいりたい。

問 子どもたちの診療支援について問う。

答 公立相馬総合病院は平成18年5月より平日の夜間の救急診療を行っている。

この制度は、当時、夜間に受診する小児科の患者が非常に多く、小児科医師の負担が過重となり、



その他の質問
・おでかけミニバス

災害市営住宅の払い下げ

問 当初払下げを想定していなかった住宅団地についても払下げを行うのか問う。

答 他の団地についても被災者の希望を最優先にしながら手続きを進めていく必要がある。



そうま維新
根岸利宗議員

程田明神前地区住宅団地、尾浜細田東地区住宅団地の全部と山信田住宅団地の一部は将来の払い下げを前提とした災害市営住宅団地である。

このうち、程田明神前住宅団地において、現在、具体的に払い下げに向けた作業が進められている。災害市営住宅の払い下げは初めてのケースであり、重要な時期に来ていると考えている。市当局に所見を伺う。

問 当初払下げを想定していなかった住宅団地についても払下げを行うのか問う。

答 他の団地についても

被災者の希望を最優先にしながら、払い下げについての国との交渉、事務手続きを進めていく必要がある。

問 災害市営住宅の払い下げに係る住民の意向調査について問う。

答 程田明神前住宅団地42世帯のうち、払い下げを希望する世帯が14世帯、払い下げを希望しない世帯が11世帯、払い下げを検討中の世帯が17世帯であった。

問 今後の方針、取り組みについて問う。

答 本年6月末までに、災害市営住宅の払い下げ

を希望する世帯数を確定させた上で速やかに国へ申請する予定であり、その後、国から災害市営住宅の払い下げの承認を得次第、災害市営住宅の払い下げの手続きを進めることとなる。

建設当初に払い下げを希望していない災害市営住宅でも、希望した場合には払い下げの対象とするなどの要望書が提出されたことを踏まえ、希望する入居者には払い下げできるよう、今後国と協議を進めてまいりたい。

その他の質問
・尾浜地区復興交流広場
・馬の育成に対する支援